

ひょうご里山・里海国際フォーラムの開催

大阪・関西万博開催を契機に、里山・里海の重要性やその保全と再生に向けた取組を国内外に発信し、その保全と再生に取り組む地域住民や未来を担う若い世代との交流を図るため、「ひょうご里山・里海国際フォーラム」を開催し、参加者を募集します。本フォーラム開催を通して、里山・里海の持続可能な発展を目指します。

※ ひょうごEXPOウィークのテーマ「地球の未来と生物多様性」(9/17~9/28)におけるシンクロイベントとして開催

1 開催日時

令和 7年 9月 27日(土)~ 28日(日) 開場10:00

2 開催場所

県立兵庫津ミュージアム「ひょうごはじまり館」
(神戸市兵庫区中之島2丁目2-1)

神戸市営地下鉄海岸線「中央市場前」駅から徒歩5分以内

3 参加申込

一部プログラムは事前申込要(先着順)

参加無料



4 主催

兵庫県、公益財団法人ひょうご環境創造協会、公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN)、公益財団法人国際エメックスセンター ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO)、ひょうご環境保全連絡会



9月27日(土)

プログラム	内 容
<p>①ひょうごZ世代里山・里海環境リーダーからの提言 10:30～12:00</p> <p>定員70名 /事前申込要</p>	<p>本年5月より次世代を担うZ世代（概ね30才以下）を対象とした「ひょうごZ世代里山・里海環境リーダー育成プログラム」を実施。本プログラムで新しい里山・里海のあり方を検討。その成果を参加者15名が発表</p>
<p>②基調講演 13:30～13:35 主催者あいさつ 13:35～14:30 講演</p> <p>VOD</p> <p>定員150名 /事前申込要</p>	<p>本フォーラム全体を貫く理念「地域循環共生圏」について講演</p> <p>演題 「地域循環共生圏 トリプルサステナビリティが切り拓く未来」 講師 中井 徳太郎（日本製鉄株式会社顧問、(公財)三千年の未来会議代表理事）</p> <p>プロフィール 1962年生。1985年東大法学部卒業後、大蔵省入省。東日本大震災後の2011年7月環境省に。総合環境政策統括官等を経て、2020年7月環境事務次官。地域循環共生圏構想、2050年カーボンニュートラル目標、カーボンプライシングの推進に深くコミットしてきた。2022年7月退官後、日本製鉄顧問、公益財団法人三千年の未来会議代表理事。</p>
<p>③脱炭素×SDGs×地域づくりシンポジウム 14:40～15:40</p> <p>VOD</p> <p>ISAP連携プログラム</p> <p>定員150名 /事前申込要</p>	<p>地域の課題を自ら解決するため、地域でリーダーを担う人材や、地域や専門家をコーディネートする人材が欠かせない。人材育成施策について振り返るとともに、将来に向けた施策について討論</p> <p>コーディネーター 畑中 直樹 ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)代表理事 パネリスト 中井 徳太郎 日本製鉄株式会社顧問、(公財)三千年の未来会議代表理事 今 温香 (公財)地球環境研究戦略機構(IGES)研究員 サステナビリティ・オガナイザ-(持続可能地域士) 2名 ほか</p>

※VOD・・・「ひょうごの環境」(<https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp>)で後日、動画配信を行います。

※ISAP連携プログラム・・・IGESのISAP（持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム、日本及びアジア太平洋で活躍する専門家、国際機関、政府、企業、NGO関係者が集い、地域の持続可能な開発に関する多様な議論を行う場）プログラムに位置付けられ、後日、ISAPサイトでも動画配信されます。

9月28日(日)

プログラム	内 容
<p>④里山国際フォーラム 10:30～12:00</p> <p>同時通訳 VOD</p> <p>ISAP連携プログラム</p> <p>定員150名 / 事前申込要</p>	<p>日本一の里山と言われる兵庫県川西市黒川地区での取組や海外での地域循環共生圏の実践事例を紹介するとともに、国内外に向けて発信</p> <p>演題 茶道文化によって支えられている兵庫県川西市黒川の里山林 講師 服部 保 (兵庫県立大学名誉教授)</p> <p>～海外事例紹介～ 講師 ミトラ ビジョン クマール (公財)地球環境研究戦略機関(IGES) サステイナビリティ統合センター リサーチ ディレクター</p>
<p>⑤高校生による ポスターセッション 13:00～15:00 発表 16:00～16:30 表彰</p>	<p>未来を担う若い世代が、人と自然との関わり方について考える一環として、県内の里山・里海をテーマに実施した調査、研究の成果を発表</p> <p>発表者 県内の高校生 (12校19チーム) 審査委員 川井 浩史 神戸大学特命教授、菅 範昭 ひょうご環境創造協会理事長、中井徳太郎 日本製鉄株式会社顧問、服部 保 兵庫県立大学名誉教授、上西 琴子 兵庫県環境部次長</p>
<p>⑥里海国際フォーラム 14:30～16:00</p> <p>同時通訳 VOD</p> <p>定員150名 / 事前申込要</p>	<p>国内外の里海づくりの取組成果や課題等を共有し、「豊かで美しいひょうごの里海づくり」の実現に向けて、目指すべき理念や今後の里海づくりのあり方等について情報交換</p> <p>コーディネーター 内山 雄介 神戸大学 大学院工学研究科 教授 パネリスト 吉田 裕之 (一社) 須磨里海の会 代表理事 石森 康一郎 Value Frontier (株) 代表取締役 加藤 久美 和歌山大学 観光学部 教授</p>
<p>海ごみ展 漂着した海洋ごみ等を展示 生物多様性展 野生動物の剥製や特定外来生物の標本等を展示 神戸市里山・里海展 里山・里海をテーマにした展示</p>	



ひょうご 里山・里海 国際フォーラム

HYOGO SATOYAMA SATOUMI
INTERNATIONAL FORUM 2025

日時 9/27(土)・28(日)

開場10:00 / プログラム10:30~

場所 兵庫県立兵庫津ミュージアム
Hyogo prefectural Hyogo-no-tsu Museum
ひょうごはじまり館 神戸市兵庫区中之島2丁目2-1

主催 兵庫県、公益財団法人 ひょうご環境創造協会、公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)、
アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)、公益財団法人国際エメックスセンター、
ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)、ひょうご環境保全連絡会



参加無料・事前申込要

定員のあるプログラムへの参加は
左記二次元コードから
事前申込(先着順)が必要です。

ご来場には、神戸市営地下鉄 海岸線、
神戸市バスをご利用ください。



神戸市営地下鉄 海岸線「中央市場前」駅より徒歩5分

- 神戸市バス「県立兵庫津ミュージアム前」より徒歩3分
- 会場に駐車場はありません。
- 公共交通機関での来場または近隣有料駐車場をご利用ください。

【お問い合わせ】兵庫県環境部 総務課 TEL.078-362-3272

9/27(土) プログラム

10:30~ 12:00 ひょうごZ世代
里山・里海環境リーダーからの提言
未来を担うZ世代が考える、これからの里山・里海のあり方とは?
定員70名 / 事前申込要

13:30~ 14:30 基調講演
地域循環共生圏
トリプルサステナビリティが切り拓く未来
中井 徳太郎
(日本製鉄株式会社 顧問、公益財団法人 三千年の未来会議 代表理事、元環境事務次官)
定員150名 / 事前申込要

14:40~ 15:40 脱炭素×SDGs×
地域づくりシンポジウム
コーディネーター / 畑中 直樹(ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)代表理事)
パネリスト / 中井 徳太郎、サステナビリティ・オーガナイザー ほか
定員150名 / 事前申込要

9/28(日) プログラム

10:30~ 12:00 里山国際フォーラム
講演
茶道文化によって支えられている兵庫県川西市黒川の里山林
服部 保(兵庫県立大学 名誉教授)
定員150名 / 事前申込要 日英同時通訳

海外事例紹介
ミトラビジョン クマール
(公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)/サステナビリティ統合センターリサーチディレクター)

13:00~ 15:00 高校生によるポスターセッション
審査委員 / 川井 浩史(神戸大学 特命教授)、
菅 範昭(公益財団法人 ひょうご環境創造協会 理事長)、
中井 徳太郎、服部 保 ほか

14:30~ 16:00 里海国際フォーラム
今後の里海づくりに向けてー兵庫からの発信
コーディネーター / 内山 雄介(神戸大学 大学院工学研究科 教授)
パネリスト / 吉田 裕之(一般社団法人 須磨里海の会 代表理事)、
石森 康一郎(Value Frontier 株式会社 代表取締役)、
加藤 久美(和歌山大学 観光学部 教授)
定員150名 / 事前申込要 日英同時通訳

16:00~ 16:30 ポスターセッション表彰

9/27(土)・28(日) 展示イベント

海ごみ展、生物多様性展、神戸市里山・里海展